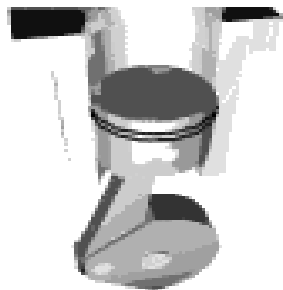


# はた ようじ 5年間の議会質問実績

～過去の質問は、その後、如何に県政に反映されたか～



5年前(平成15年4月)の当選以来、ほぼ毎議会欠かさず一般質問に登壇しております。

(登壇回数19回は、当選回数2回の議員の中で最多です。)

知事をはじめ、教育長や、県幹部の心を動かす「熱血質問」は、県議会の中であまりにも有名です。

以下、5年間の質問実績の一端をご紹介します。

## 議会質問の県政への反映：具体例

平成15年9月 定例会 一般質問

(教育長への質問主旨)

教員の人事考課制度を導入すべきだ。



(質問に対する答弁内容)

研究協議会を発足させ、評価のあり方に関する調査研究に取り組みたい。

その後 **実現**

- ・平成18年度から、試行開始。
- ・平成19年度から、「本格導入」。

平成16年9月 定例会 一般質問

(土木部長への質問主旨)

早期に、笹ヶ瀬川の河川改修を進めていただきたい。



その後 **実現中**

JR吉備線橋梁～白石橋区間について河道を改修中(平成20年度中に完成)、その他区間についても、順次整備予定。

平成16年12月 定例会 一般質問

(教育長への質問主旨)

行政改革の観点から、スポーツの振興を図るために、スポーツ全般についての所管を、教育委員会から知事部局へ移管してはどうか。



その後 **実現**

平成18年4月から、知事部局の生活環境部に、スポーツ振興課を設置。  
(教育委員会から移管)

平成17年6月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)

県債の借入に際し、入札を導入するとともに、市場公募債の発行についても検討してはどうか。



(質問に対する答弁内容)

新たな調達先の開拓や、市場公募債の導入について、前向きに検討してまいります。

その後 **実現**

- ・入札制度の導入(資金調達方法の拡大等)
- ・市場公募債の発行(平成19年11月)

平成18年2月 定例会 一般質問

(土木部長への質問主旨)  
河川水位などの情報を、積極的に地域住民に提供するため、笹ヶ瀬川に電光表示盤の設置をお願いしたい。



その後 **実現**  
笹ヶ瀬川については、白石地区に設置。  
足守川については、今保地区に設置。  
(平成19年度末現在)

平成18年2月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
外郭団体について、さまざまな角度から見直しを行うべきだ。



その後 **実現**  
すべての外郭団体を見直し、各団体ごとの見直し内容やスケジュール等を、「外郭団体改革プラン」として取りまとめた。(平成19年11月)  
抜本の見直しを行うこととした外郭団体  
最大 19団体を削減

平成18年2月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
審議会について、法律等で設置義務があるものを除き、ゼロベースで見直すべきだ。



その後 **実現**  
統廃合の検討や、運営及び委員選任の見直しを行い、42の審議会を削減することとした。(平成19年度)

平成18年2月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
試験研究機関の見直しを、今後どのように行っていくのか。



その後 **実現**  
「試験研究評価に関する指針」を策定し、平成20年度から、全試験研究機関を対象に外部評価を実施することとした。

平成18年9月 定例会 一般質問

(総務部長への質問主旨)  
予算発表資料を、一般県民にわかりやすいものにしてほしい。



その後 **実現**  
平成19年度の当初予算発表資料は、絵柄や図を多様したカラー資料となり、わかりやすさが飛躍的に向上。  
平成20年度の当初予算発表資料は、さらに内容を充実させた。

平成18年9月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
県当局と、県職員労働組合との労使交渉概要を、一般県民にも開示すべきだ。



その後 **実現**  
組合交渉の概要(要求内容、妥結結果、議事録等)が、速やかに、県のホームページにて情報開示された。

平成18年9月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
県が、今後優先的に取り組むべき施策については、必要性や緊急性の観点から「選択と集中」を行うべきだ。



その後 **実現**

優先的に取り組むべき喫緊の課題に対して、機動性を持ち柔軟に対応していくために、県政の重点的な推進方向を示す「政策重点指針」を、年度ごとに策定することとなった。

平成19年6月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
新しい私学助成制度は、新しい時代に対応した、持続可能な制度にしたい。



その後 **実現**

平成20年度から、標準運営費方式を導入するとともに、過疎地域への配慮や、激変緩和措置等を行うなど、新しい制度に改められることとなった。

平成19年2月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
大規模テロの発生や、他国からの武力攻撃事態など有事に、住民を速やかに避難させ、的確な情報収集が行えるよう、国民保護訓練を実施してはどうか。



その後 **実現**

平成19年度に、図上訓練を実施。また、平成20年度には、実動訓練を予定。

平成19年9月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
倉敷チボリ公園からの、勇気ある撤退を決断し、事実上の閉園宣言をしてはどうか。



その後 **実現**

県は、新たな税金投入は行わないこととした。  
(「県が主体となって支えることは困難」と表明)

平成19年2月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
大規模災害やミサイル攻撃など、緊急事態に備えるため、県や市町村に、全国瞬時警報システムを整備すべきだ。



その後 **実現**

県は、平成19年度末に整備。市町村は、今後、順次整備を進めることとした。

平成19年12月 定例会 一般質問

(知事への質問主旨)  
県民局において、地域の実態に合った事業の調整と執行を行うための「地方振興事業調整費」を増額してほしい。



その後 **実現**

平成20年度予算で、新たに「中山間地域等特別支援事業費」10億円を計上し、地域格差の是正に対応していく。